

あーちの利用はただいま予約制となっています。詳しくは3面の「あーち利用のご案内」をご覧ください。

あーちをご利用のみなさまへ
緊急事態宣言の解除を受けて、7月から
あーちの利用制限を緩和いたします。



<ふらっとついて>

- ・午前・午後の2部制とし、それぞれの定員をおおむね10名程度とします。(状況により利用人数を変更することがあります)

<よる・あーちについて>

- ・7月からも、子どもの日と青年の日の隔週実施を継続します。
- ・時間は、17時から18時50分まで。19時完全閉館にご協力ください。
- ・必要に応じて学習支援を再開します。支援を希望される方は事前にお申し出ください。

<プログラムについて>

- ・一部のプログラムを再開いたします。(2面の月間予定表をご覧ください。)



「すりすりももんちゃん」

作:とよた かずひこ

童心社 2002年5月発行



「びよびよ ひよこさん ももんちゃんに
すりすり ももんちゃん いーいにおい」

やわらかくて、いいにおいのももんちゃんのほっぺに、いろんな動物がすりすり。でも とげとげさぼてんさんはちょっと…
あまーいにおいがして、食べてしまいたいほどかわいい赤ちゃんのほっぺ。人と距離をとることが当たり前になってしまった今、
「すりすりももんちゃん」を読むと、スキンシップの大切さを改めて感じます。

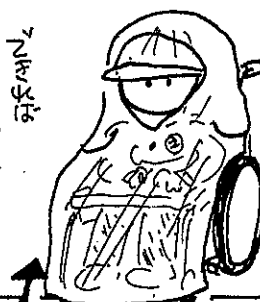
みなさんは、ももんちゃんとお母さんみたいに、親子でいっぱいスキンシップをしてくださいね。

(あーちスタッフ 朝野規巳子)

えんじえる君II by Bon

ちよとのことが残念

着たふん
着たふん

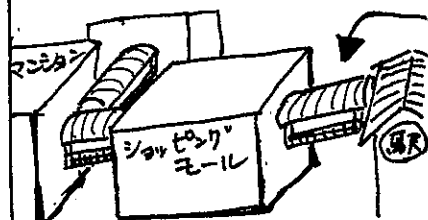


雨がぽろぽろ
うーん…

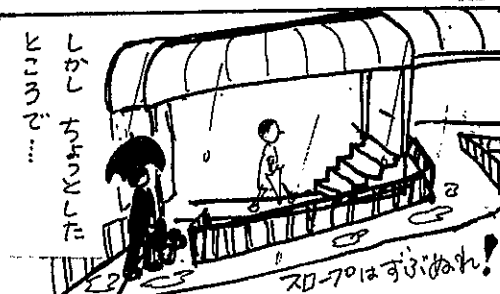
手は中に
納めよう



動きぬれてしまつたので
じつ…と…い…ない…と…け…



雨にあたらぬように
を…通…り…ま…す…



し…か…し…
と…こ…う…で…

スロープはすべぬね!



スロープはすべぬね!



手前だけ雨??



7月予定表



		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち
1	木		
2	金	よる・あーち(こども) 17:00~18:50	
3	土		
4	日	休 館	
5	月	休 館	
6	火		おひさまひろばあーち(予約制) 午前中
7	水		
8	木		
9	金	よる・あーち(青年) 17:00~18:50	
10	土		あらかると音楽遊び(予約制)14:30~15:00
11	日	休 館	
12	月	休 館	
13	火		
14	水		ベビーマッサージ(予約制) 14:30~15:30
15	木		
16	金	よる・あーち(こども) 17:00~18:50	リフレッシュYOGA(予約制) 10:45~11:45
17	土	健康あーち 11:00~12:00	
18	日	休 館	
19	月	休 館	
20	火		おひさまひろばあーち(予約制) 午前中
21	水	パパママほっと 10:30~12:00	
22	木	休 館	
23	金	休 館	
24	土		
25	日	休 館	
26	月	休 館	
27	火		おひさまひろばあーち(予約制) 午前中
28	水		
29	木		ベビーマッサージ(予約制) 14:30~15:30
30	金	よる・あーち(青年) 17:00~18:50	
31	土		

<プログラムの参加方法>

- ・ ふらっとで行われるプログラムは予約制です。通常利用の予約フォームからお申し込みください。
 - ・ こらぼで行われるプログラムに参加する場合、予約は必要ありませんが、ふらっとの利用はできません。
ふらっとを利用する場合は、別途、通常利用の予約フォームからお申し込みください。
- ※予約の手順については3面の「利用予約の方法」をご覧ください。

<プログラムのご案内>

- おひさまひろば……保育士さんが親子のふれあい遊びや絵本の読み聞かせをしてくれます。
- あらかると音楽遊び…手作り紙芝居や大型絵本におもしろい音や音楽を合わせた、楽しい読み聞かせです。
- ベビーマッサージ…予約制です。バスタオル1枚、タオル、着替え、おむつ、赤ちゃんの飲み物をお持ちください。
受付に10分ほどかかりますので、14:15頃までにお越しください。
- リフレッシュYOGA…肩こり、腰痛を軽くするポーズを中心に、自宅でも簡単にできるYOGAです。
ヨガマットやバスタオルなど敷くものをお持ちください。
- 健康 あーち……健康づくりをテーマに保護者が中心となり取り組んでいます。農園に出かけたり、クッキングや専門家を囲んでの懇談会なども行っています。
- パパママほっと……ASD(自閉症スペクトラム、アスペルガー)またはその傾向のあるお子さんを育てている保護者の集いです。悩みを分かち合い、情報交換を行うピアカウンセリングの場です。

<あーち利用のご案内>

★ 利用予約の方法

- ・予約は1週間ごとに受付けます。毎週金曜日までに予約フォーム(右のQRコード)から翌週分の予約を行ってください。希望者多数の場合は抽選となり、結果は土曜日にメールでお知らせします。(定員は午前・午後ともおおむね10名程度)
- ・利用時間は、午前10:30~12:30 午後14:00~16:00です。
- ・保護者は2名まで利用できます。



★ 当日空きがある場合は、お電話で予約ができます。TEL(078)805-6090

- ・利用当日の10:30以降に、直接あーち受付までお電話ください。(当日分のみ予約可 先着順)

★ ご利用にあたっての留意事項

- ・おとなは必ずマスクをしてください。
- ・来館前にお子さんご自身の体温を測ってお越してください。受付で体調などを伺う「健康おたずね表」に記入していただきます。
- ・昼食、おやつなどの飲食はできません。(水分補給は可)

※ 関係者の感染が確認された場合、接触者追跡のため市や保健所に個人情報を提供することがあります。

<ふらっと相談員> ~お気軽にお声をかけてください~

水曜 午前 灘区地域活動支援コーディネーター(不定期)
午後 助産師
木曜 午前 保健師
土曜 午前 助産師

あーちのルール

- ☆オムツやゴミはお持ち帰りください
- ☆託児はできません
- ルールを守って楽しくすごしましょう!



“Long story short”は、「要するに、早い話が」という意味です。文字通り長い話を短くするということで、かいつまんで話をしたい時に使います。この間は、私たちの6回目の結婚記念日でした。この日は、お友達とレストランで一緒にお祝いをしました。配偶者が、レストランのウェイターに“Today is our anniversary.”「今日は結婚記念日なんだ。」と言うと、“How long have you been?”「何年目ですか。」と聞いてくるので、私が“the 6th”「6年目です。」と答えると、配偶者が私に“But how long do you feel?”「でも、どれだけに感じるの?」と聞くので、“More than 6 years.”「6年以上。」と笑って答えました。友達は今年結婚39年目。これが、「あっという間だったわ。」と言うんです。

Long story short, 早い話が、私にとってこの6年はとても大変だったということですね。

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)

神戸大学大学院サテライト施設「のびやかスペース あーち」
〒657-0832 神戸市灘区岸地通 1-1-1 灘区民ホール 3 階
TEL&FAX 078-805-6090
HP <http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>
開館日 火~土曜日(月曜、日・祝除く)

神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970
FAX 078-803-7971

☆ 第7話 ☆

「違いと対話」

こどもの時に読んだ本の中で印象にのこっていることの一つに、昆虫には花の色が見えていない、蜜がある周辺部分だけ色が見えている、というのがありません。事実はちょっと違うようなんですが、人間と同じようにミツバチは色を認識していないことは間違いないようです。

私にとっては「赤い花」であってもミツバチにとっては「無色」。そんなことを聞くと、自分には赤く見えている花は本当は何色なんだろう？って思いますよね。（「実は物理的世界には色がついてない」と別の本には書いてありました。）

太陽の色を表す時にフランス人は黄色で、日本人は赤であるとも聞いたことがあります。コバルトブルーの海もあれば群青色と表現される海もある。能面の顔は笑っているのか、果たして泣いているのか。見る角度によって表現しているものが正反対になります。

全部、誰かの主観。

人によって、見る角度によって、場面によって、一緒にいる人によって、「真実」なんてものは、どうやらいくらかでも変化してしまうらしい。

このような違いは日常生活の中から世界情勢の分断に至るまで、あらゆる場面で見られますが、だったら「真実」なんて実はどこにもないんじゃない？私たちは対象物や相手によって「これが真実としよう」と合意しているに過ぎないんじゃないかな、きっと。そんなことを思ってしまう。

じゃあ、「合意」が成立しない場合はどうしよう？

リンゴは、赤でしょ？ぜったい赤だよ！

いや、黄色だって！僕には黄色にしか見えない！

ほら。すぐに喧嘩勃発！

いやですねー。怒鳴りあうのも、殴り合うのも、罵りあうのも、ましてや戦争状態なんて。対立を最小限に抑えるには、やっぱり「話し合い」しか今のところ思いつきません。

対話なんです。

英語で言えば dialogue.conversation でもな

く discussion でもなく debate でもない。（この違い、結構大事な気がします。）

まず、相手と自分はものの見え方が全然違うことを認識する。

私はリンゴが赤いと思う。

僕は黄色く見える。

へえ、私と君とでは見え方が違うんだね。

じゃあ、私は君の立っているところから見てみるよ。

うん、こっちに来てみて。

本当だ。黄色っぽく見えるかも。

ね、そうでしょ。

次は僕も君と同じところから見てみるよ。

うん、そうしてみて。

あっ！赤く見える！僕からは黄色しか見えてなかったけど、赤いほうが多いかも。

じゃあ、本当は何色なんだろう。もう一度よく見てみようよ。

あ、よく見たら赤色の中に黄色も混ざっているかも。

僕は黄緑色もみつけたよ。

ということは、リンゴは赤が多いけど、部分的には黄色で黄緑色もあるんだね。

そうだね。これで私たちはリンゴの色について「合意」できたね！！

こんな風にできたらいいなあ、って思うのです。

誰にとってもかわいいワンちゃんでも長男にとってはオオカミに見えるのかもしれない。私にとっては楽しい運動会でも、次男にとっては苦行のようなイベントかもしれない。親子といえど、別々の生き物。異なった感覚、考え方、環境にいること。違いがある可能性や事実、まず気が付いて受け入れること。相手の見え方、感じ方に寄り添うこと。そのあとに、親子で「合意」ができればいいですね。（現実には親が寄り添うことの方が多いと思いますが）

そんなふうな心の余裕ができれば、子どもとの時間はほんのちょっと穏やかに楽しく豊かなものになると思います。